

平成29年度
事業報告書

一般財団法人オートレース振興協会

平成29年度事業報告書

当協会は、オートレース運営の一翼を担う機関として、現在業界一丸となって進めている「オートレースの構造改革」への取り組みを踏まえつつ、オートレースの健全な発展に寄与するため、オートレースに関する調査研究事業、競走車部品の安定供給に関する事業、モーターサイクルスポーツの普及促進事業及び構造改革関連事業をオートレース運営支援関連事業として実施した。

また、その他事業として、オートレース運営に係るリース事業及びオートレース電話投票の発売等に関する事業を実施した。

1. オートレース運営支援関連事業

(1) オートレースに関する調査研究事業

メインフレーム（通称：三角フレーム）のステアリングヘッド部に使用するベアリングについて、現行メーカーの在庫数が全国的に品薄となり安定供給の継続が危ぶまれるため、現行品が安定供給されるまでの一時的な措置として、選手会協力のもと、他メーカー品の実車走行テストを実施し、現行品と性能差のないことが確認でき、使用することとした。

(2) 競走車部品の安定供給に関する事業

① 備蓄事業

競走車部品で、その特性から特定のメーカーに一括発注しなければ生産の引き受け先がない部品（233品目）について、当会が最小限の生産ロット数を発注して在庫保管（備蓄）し、必要数量を選手会支部の部品庫に供給する備蓄事業を行い、安定供給に努めた。備蓄部品の販売額は283,482千円でメーカーからの購入額（仕入額）は244,901千円であった。

② 割賦販売事業

選手が、競走車のエンジン又はフレームを購入する場合に初期経費の軽減化を図るための割賦販売事業であり、本年度は、第33期新人選手へAR500型エンジンを20台販売したほか、AR600型エンジンについても7台の販売があった。また、前年度に引き続き、割賦代金の回収を行った。

③ 取次事業

ア. 競走車のエンジン・同部品に関する取次事業

選手が、競走車のエンジンを現金で購入する場合及び各レース場の部品庫から競走車のエンジン部品を購入する場合に当会がメーカーに注文を取次ぐ事業を実施した。

取次内容は、部品の取次額が208,612千円であった。

イ. オイルフォーク等の整備に関する取次事業

選手から、オイルフォークの整備依頼及び消音器の補修依頼を受けてメーカーに取次ぐ事業を行った。取次内容は、オイルフォークは8件でその額は226千円、消音器は8件で498千円であった。

④その他の事業

競走車及び同部品等の供給に係る苦情を受け付け、その内容を調査（目視検査等）し、その状況に応じてメーカーに取次ぎ苦情処理に努めた。受け付けた件数は35件で、31件の処理を実施した。

（3）モーターサイクルスポーツの普及促進事業

モーターサイクルスポーツの普及促進を通じて、広く一般にオートレースのイメージアップを図るため、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会と連携し、主に年少者を対象としたポケットバイク・ミニバイクのキッズバイク初心者教室やポケバイレース、ソーラーバイクレースをオートレース場等で開催した。

また、モーターサイクルスポーツイベントにブース出展し、モーターサイクルスポーツ及びオートレースのPR活動を実施した。

（4）構造改革関連事業

・払戻率の可変化に関する広報支援事業

全てのグレードレースの第7Rを「2連勝単式払戻率80%」の対象レース（名称：グレードレース7）とし、同レースについて各施行者が実施したレース場周辺地域への一般紙及びスポーツ紙（地方版）への開催告知、駅貼りポスター及びCM等の交通広告やタレントを起用した集客イベント等の広報活動の一部支援を行なった。

2. その他事業

（1）オートレース運営に係るリース事業

小型自動車競走施行者、オートレース場及びオートレース場外車券売場施設を所有する法人等が開催運営に係わる設備（投票関連機器、映像装置、ナイター設備等）を導入する際に、初期費用軽減化のため、当会がその機器等をリースする事業を行っており、本年度は以下1件のリース契約を行った。

- ・(株)KT21（オートレース宇土（増床分）用場外システム機器一式）

(2) オートレースの電話投票業務に関する事業

①オートレース電話投票運用業務に関する事業

小型自動車競走施行者5施行者より電話投票業務の委託を受け、基幹システムの運営管理を行うとともに、オートレース電話投票の車券発売に関する事業を行った。売上拡大策として、毎日キャッシュバックキャンペーン等をJKA広報部門と連携して実施し、当協会の電話投票売上額は15,167,507,800円（対前年比96.1%、1日平均電投売上額は対前年比93.7%）であった。

車券売上総額は65,953,132,000円（対前年比100.8%、1日平均売上額は対前年比98.4%）と総額で前年売上額を超える結果となった。また、電話投票売上の総車券売上額における構成比は、民間ポータルによる発売を含め44.6%（対前年度比107.0%）と過去最高となった。

②オートレース電話投票加入者に関する事業

ア. 加入者募集

平成29年度の加入者募集については、一般銀行において211名（一斉募集82名、常時募集129名）の新規会員を登録した。ネットバンク会員については、新規加入促進キャンペーン等を実施し、楽天銀行3,191名、ジャパンネット銀行2,335名、合計5,526名の新規会員を登録した。その結果、平成29年度末の電話投票会員数は4,381名増の116,793名となり、対前年比103.9%となった。（一般銀行会員12,225名、ネットバンク会員104,568名）

イ. 加入者へのPR

電話投票会員に対し、オートレース開催日程ハガキを年間4回送付した他、モーターサイクルスポーツイベント会場において、ネット投票会員の新規加入のPRに努めた。

附 属 明 細 書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年 6月

一般財団法人オートレース振興協会